

シェルムーン5型 アルミ電動シャッター本体取付けマニュアル

⚠️ 安全にお使いいただくために

●本マニュアルでは、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため、次のような絵表示をしています。



注意

取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。

お願い

「必ず行っていただくこと」を示しています。

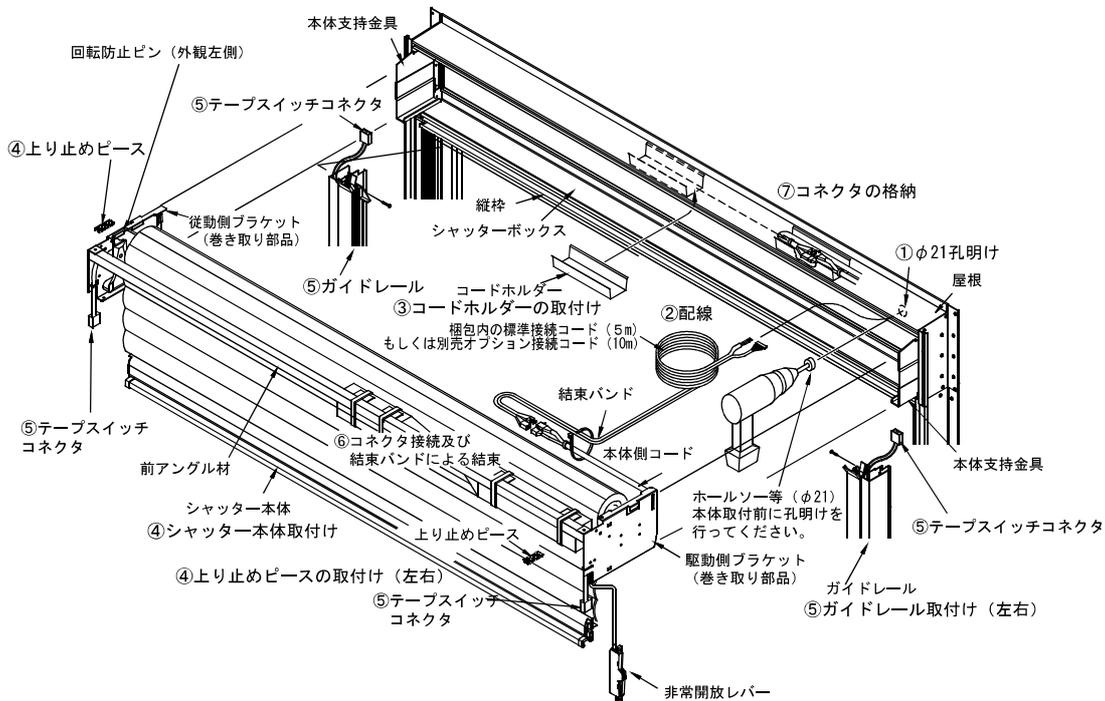
●本製品の明細は以下の通りです。

シャッター本体 x 1、操作スイッチ x 1、化粧プレート x 1、標準接続コード（電源線5m x 1、信号線5m x 1）取付部品セット（コードホルダー x 1、上り止めピース x 2個、結束バンド x 2）電気工事マニュアル x 1、お取扱いの手引き x 1、シャッター本体取付けマニュアル x 1

●その他の梱包

ガイドレール、ボックスカバー、枠、障子、網戸、赤外線リモコン増設ユニット（別売オプション）接続コード10m（別売オプション）

取付け手順概要（各手順の詳細説明は別途）



- ① シャッターボックス内の仕上材（MDF）への孔明け（φ21）
- ② 接続コードの配線（接続コードは電源線と信号線の2本コードを配線します。）
- ③ コードホルダーの取付け
- ④ アルミ電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け
- ⑤ ガイドレール（注：別売、別梱包）の取付け及びテープスイッチコネクタの接続
- ⑥ 接続コードと本体側コードのコネクタ接続及び結束
- ⑦ コネクタ部分のコードホルダーへの格納

お願い

各手順の詳細説明を必ずご確認の上作業してください。

お願い

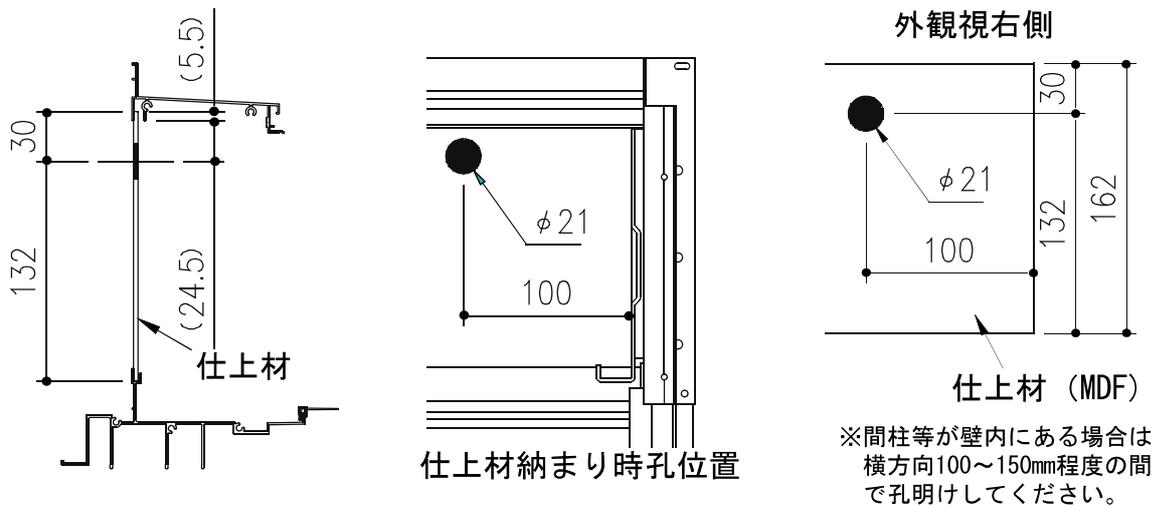
別売オプションの接続コード10mをご使用になる場合は、シャッター本体取付け前にご用意ください。

⚠ 注意

不具合の原因になりますので接続コード（信号線側）は継ぎ足さないでください。

手順 1 : シャッターボックス内の仕上材（MDF）への孔明け

シャッターボックス内の仕上材に、下図に示す位置φ21の孔を明けてください。

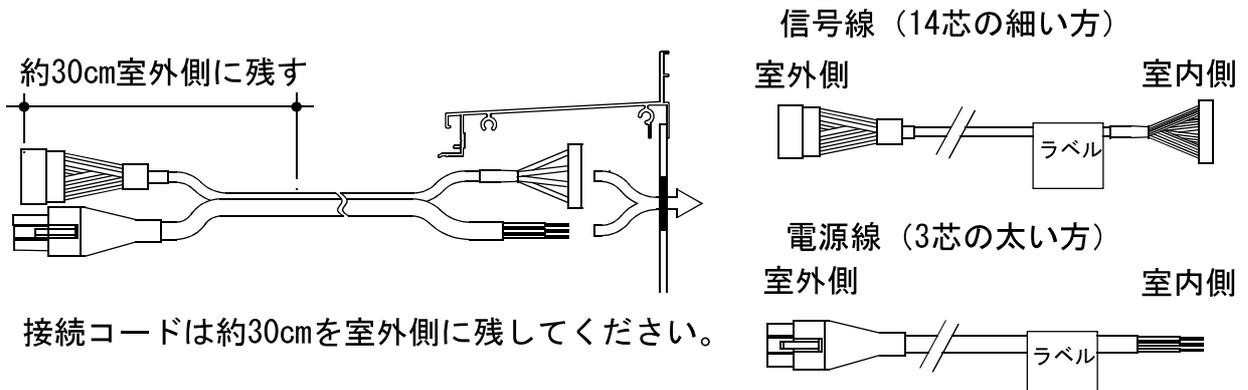


お願い

孔明けはホールソー等を使用してきれいに明けてください。きれいな丸円が明かない工具での孔明けはお止めください。

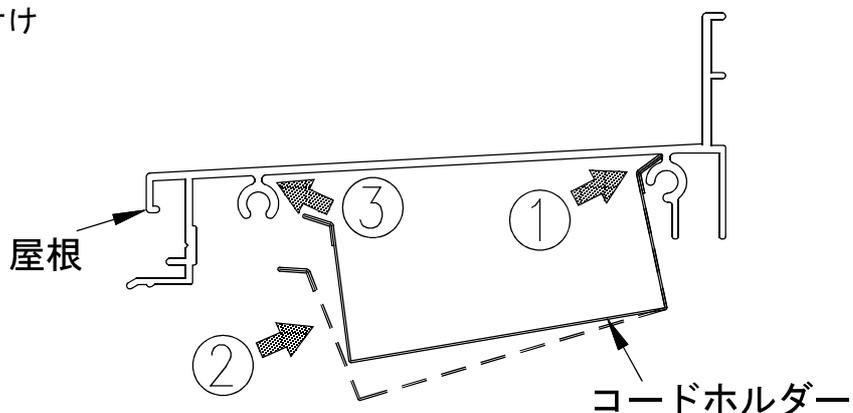
手順 2 : 接続コードの配線（電源線と信号線の配線）

手順 1 で明けた孔に、接続コードを室外側から室内側に向かってコネクタ部分から孔に挿入していきます。



手順3：コードホルダーの取付け

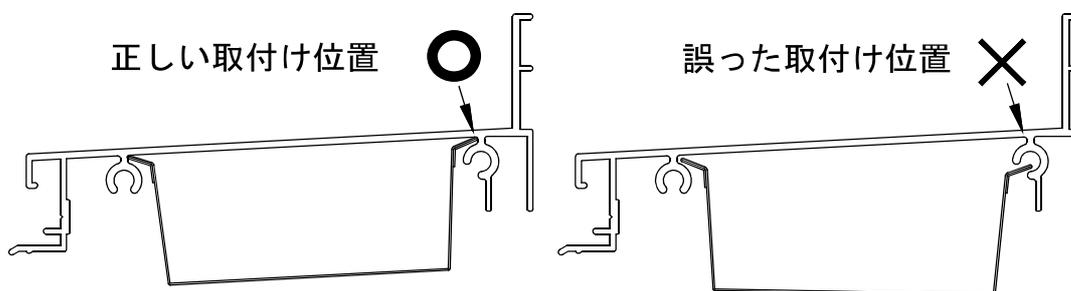
- ①奥のつめを屋根にセット
- ②コードホルダーを指で軽く室内側に向かって軽く押す
- ③手前のつめを屋根に取付け



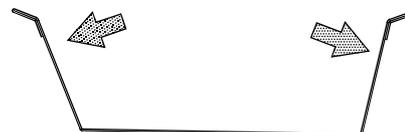
注意

コードホルダーの奥のつめは正しい位置に取付けしてください。(下図)

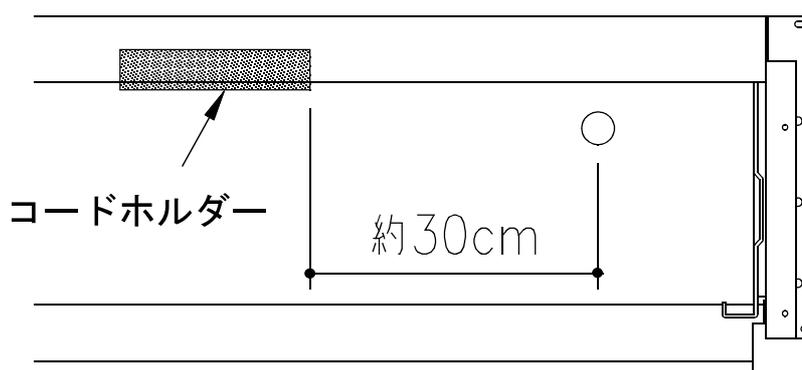
誤った位置に取り付けられますと、コードホルダーが脱落し、不具合の原因となります。



嵌め合わせが弱い時は、コードホルダーを手で広げてください。



取付け後、コードホルダーをスライドさせて、接続コードの通し孔から約30cmのところを取付けしておくこと、後の作業がしやすいです。



手順4：アルミ電動シャッター本体の取付け 及び上り止めピースの取付け

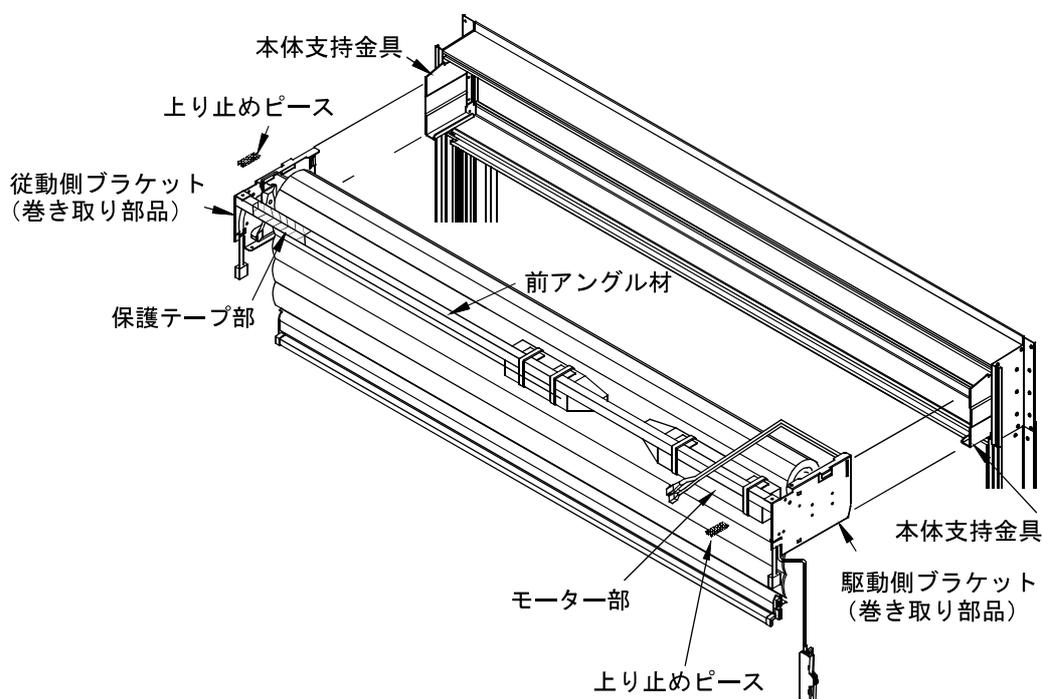


注意 開梱作業及び取付け作業は、必ず2人以上で行ってください。

シャッター本体の前アングル材の両端部を持ち、開梱作業及び取付け作業を行います。

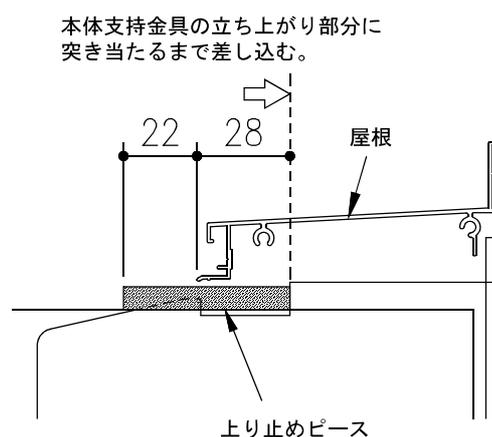
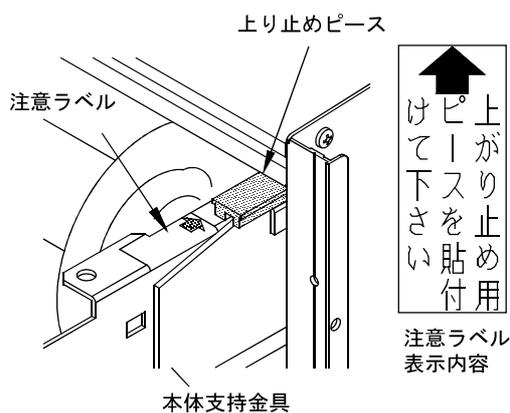
(前アングル材は必ず保護テープ部とモーター部のみを持ってください。中央部側を持つとアングル材が変形します。)

下図の様に左・右のブラケットを、それぞれ左・右の本体支持金具へ差込みます。

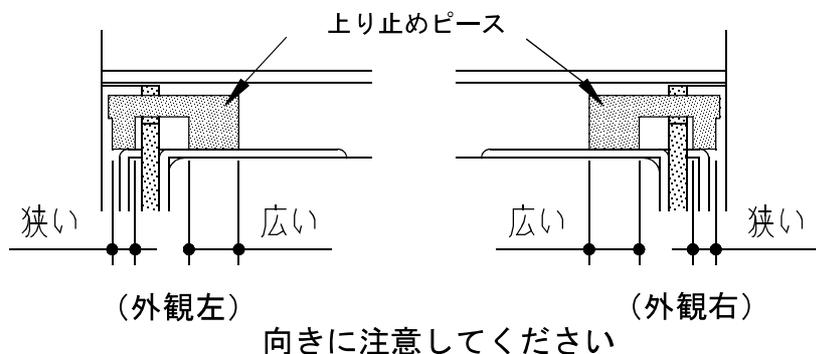


本体取付け後、上り止めピースを左右巻き取り部品と屋根との隙間に取付けます。上り止めピースの離型紙をはがし、溝が本体支持金具をまたぐようにして、奥に突き当たるまで差し込みます。

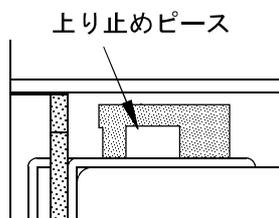
(目安として屋根の先端部から上り止めピースの先端まで22mm)



○ 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいる。



✕ 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいない。



お願い 本体取付け後に以下の確認を必ず行ってください。(下図)

- ① 本体支持金具の上端切り欠き部とブラケットの金具上端突起部が噛み合っていること。
- ② 上り止めピースが本体支持金具をまたいで、奥まで確実に差し込まれていること。
- ③ ブラケット（巻取り部品）の前方部分を持ってシャッター本体を持ち上げて外そうとしても、本体支持金具との噛み合わせ部分を乗り越えられずに外せないこと。

